

都賀川沿いを歩いてみれば...

START

- 1 10分 1 杣谷堰堤
- 2 10分 2 長峰堰堤
- 3 5分 3 美野丘小学校
- 4 10分 4 灘丸山公園
- 5 5分 5 関電瀬変電所
- 6 5分 6 桜の並木
- 7 5分 7 篠原公園
- 8 5分 8 合流地点
- 9 5分 9 阪急のガード
- 10 5分 10 看板
- 11 5分 11 水道管
- 12 10分 12 謎の穴
- 13 15分 13 せせらぎ
- 14 10分 14 道路の下
- 15 5分 15 ポンプ場
- 16 10分 16 沢の鶴資料館
- 17 10分 17 灘の砂浜
- 18 10分 18 灘浜緑地

上流

都賀川の上流は、杣谷川と六甲川の2つに分かれているのですが、今回は杣谷川から下ることになりました。

START



1 スタートは杣谷堰堤(えんてい)。ダムの間から見る灘の景色もまた格別。



探検隊の一言
住宅街の中にバス停があった！



2 長峰堰堤は阪神大水害の教訓でできた堰堤。昔はここで泳ぐ姿もみられたそうですが、昭和42年の水害で、なだらかに土砂がたまってしまい、泳ぐこともできなくなっていました。



3 美野丘小学校の校舎は円形校舎。建設当時は神戸でも珍しかったようです。



5 大正後期に建てられた関西電力瀬変電所。窓の上の赤いアーチがお洒落です。



4 長い階段を登り切ると、灘丸山公園から市内が望めます。面積約3.6ha、平成3年3月末完成したこの公園は、以前神戸製鋼所の野球場として使用されていました。現在、市民の憩いの公園として、また、夜景スポットとして広く利用されています。昼の景色も美しいのですが、神戸まつり花火大会では、花火見物の穴場スポットとして多くの見学者が訪れます。眺望逸流。ぜひ行って下さい。

中流

杣谷川が六甲川と合流し、ここから正式に都賀川となります。この辺りから正



6 バス道から川沿いに桜の並木がありました。川面に覆いかぶさるように続いています。春歩くのも気持ちよさそう。



7 緑が多く都賀川沿い散歩の休憩ポイントとしてgoodな篠原公園。トイレもあります。



8 右が六甲山から流れてくる六甲川。左が今回歩いてきた杣谷川。篠原公園の南で合流し、ここから正式に都賀川となります。



探検隊の一言
今度は六甲川も行ってみよ。

探検隊の一言
このあたりに魚がたくさんいました。

探検隊の一言
ヤナギがいい感じ。



9 阪急のガードに都賀川を美しくの文字。鉄道のガードにこういう文字を入れるのは珍しい事だそうです。



10 都賀川公園に「水質の見分け方」という看板があります。そこにすむ生物で、川の水質が判断できるそうです。



11 水道筋につながる篠原橋の横に水道管があります。大正時代に千苅水源池の水を上カ原浄水場へと引き、神戸市内に給水することになりました。この時水道管が通り下を通っていたので水道筋と呼ばれたそうです。



12 川べりに、謎の穴をいくつか発見！水を循環させるためだそうです。鮎等が休んだりして、のどかな雰囲気。

下流

振り返ると美しい山並みが見えます。下流に近づくにつれ、ほんのり潮の香りも。河口では釣り人もちらほら



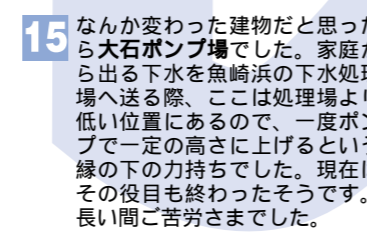
13 山手幹線から下は川の表情が変わります。岸には大きめの石を並べ、石と石の間には草花が根付いています。なんとなく懐かしいせせらぎといった風情です。



14 道路の下は上の喧騒がうそのように静かでひんやりしていました。夏は涼めそう。



16 沢の鶴資料館は古い酒蔵をそのまま公開しています。館内は大きな酒樽がいっぱいあり、昔の酒造りのロマンが感じられます。



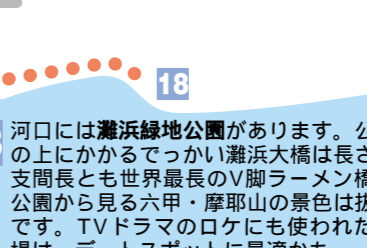
15 なんかが変わった建物だと思ったら大石ポンプ場でした。家庭から出る下水を魚崎浜の下水処理場へ送る際、ここは処理場より低い位置にあるので、一度ポンプで一定の高さに上げるという緑の下力持ちでした。現在はその役目も終わったそうです。長い間ご苦労さまでした。



探検隊の一言
きき酒ができます。



17 都賀川の河口には小さな砂浜があります。かつての白砂青松とはいきませんが、今となっては貴重な灘の砂浜です。



18 河口には灘浜緑地公園があります。公園の上にかかるでっかい灘浜大橋は長さ、支間長とも世界最長のV脚ラーメン橋。公園から見る六甲・摩耶山の景色は抜群です。TVドラマのロケにも使われた広場は、デートスポットに最適かも。



GOAL